

令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業(県分)検証シート【公表用】

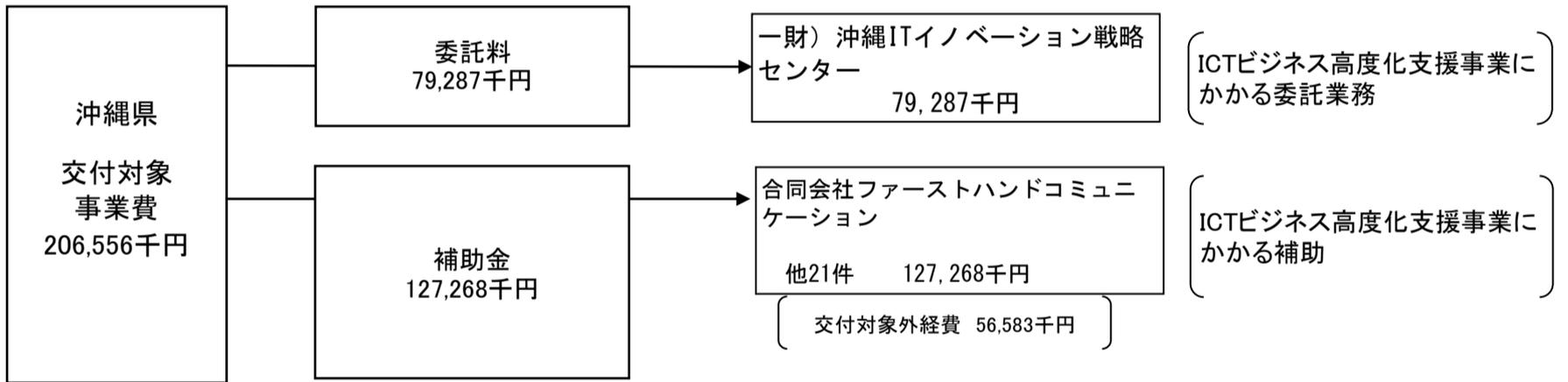
事業番号・事業名	119	ICTビジネス高度化支援事業	新沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	3-(3)-ア-①			
担当部課名	商工労働部	ITイノベーション推進課	事業実施 (予定)年度	H25 ~ R8 年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-1-(2)	
事業内容	情報通信産業の稼ぐ力を強化するため、県内IT事業者が実施する高付加価値なITビジネスの開発や他産業のDXに資するデジタル技術の開発・実証等を支援することにより、産業の高度化を図る。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(令和6年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】		R3年度	R3年度(繰越)	R4年度	R4年度(繰越)	R5年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	244,434		217,346		217,360
		(b)予算現額	192,511		217,346		217,360
		(c)増減額(b-a)	▲ 51,923	0	0	0	0
		(d)前年度繰越額	0		0		
		A. 計(b+d)	192,511	0	217,346	0	217,346
	B. 執行済額		176,204		204,358		206,556
	うち交付金充当額		140,963		163,487		165,245
	C. 次年度繰越額		0		0	0	0
	執行率(%) (B/A)		91.5%		94.0%		95.0%
予算の状況の説明		・令和5年度より、22件を計画していたところ、計画どおり22件の採択があった。 ・執行率は95.0%であり、主に補助金の執行残が発生したことによるものである。					
活動目標 (指標) 及び進捗状況	R5活動目標(指標)		進捗状況				
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	①補助件数(ビジネス構築ステージ)	目標			8件	10件	
		実績			10件	10件	
	②補助件数(技術高度化ステージ)	目標			6件	8件	
		実績			10件	8件	
	③補助件数(事業化ステージ)	目標			6件	4件	
		実績			2件	4件	
	IT活用ビジネスモデルの検討・実証	目標	8件	10件	—	—	
		実績	11件	12件	—	—	
令和元年度に開発した情報システムの海外販売数	目標	1件	1件	—	—		
	実績	1件	1件	—	—		
進捗状況説明	①②③について、活動目標を達成した。						
成果目標 (指標) 及び達成状況	R5成果目標(指標)		基準値 (〇〇年度)	R3年度	R4年度	R5年度	目標値 (令和6年度)
	①ビジネスプランの課題抽出がなされた企業	目標			8件	10件	8件
		実績			10件	10件	—
	②新技術の活用により自社技術が高度化された企業	目標			6件	8件	10件
		実績			10件	8件	—
	③事業終了後1年以内の事業化率:	目標			50%	50%	50%
		実績			50%	50%	—
	IT活用ビジネスモデルの検討・実証	目標		10件		—	—
		実績		12件		—	—
	令和元年度に開発した情報システムの海外販売数	目標		1件		—	—
実績			0件		—	—	
達成状況説明	①について、8件の採択があったところ、いずれもビジネスの課題抽出を行うことができたことから、令和5年度の成果目標を達成した。 ②について、10件の採択があったところ、いずれも高度化がなされたことから、令和5年度の成果目標を達成した。 ③について、事業終了後、1年経過していないが、採択された4件のうち、2件については、収益化されると判断されることから、50%とした。						

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	①県内企業の商品、サービスをより高付加価値化するために、県内の企業やユーザーを対象とした取組のみではなく、県外や国外の販路を拡大する取組について、掘り起こしを強化する必要がある。	①企業との事前相談において、県外で展開が見込まれる取組に関しては、県外事務所等と連携し、県外企業等との協働の可能性を確認する。

今後の取り組み方針
引き続き支援等を行いつつ、県外や国外の販路を拡大する取組についてニーズ調査や県外事務所等と連携を進めてゆく。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	うち交付金充当額	うち県負担金	うち市町村負担金	その他	交付対象外経費
263,139	206,556	165,244	41,312	0	0	56,583



評価	点 検 項 目	評価に関する説明
資金の流れ、費目・使途の点検評価	○ 支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は公募型プロポーザル方式により体制、実績、事業計画等を勘案した上で選定しており、妥当である。
	○ 予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算は事業内容に見合った規模であり、適正である。
	○ 受益者との負担関係は妥当であるか。	○受益者は一定の費用を負担しており、事業内容や他の事業の負担割合から判断しても妥当であったと考える。
	○ 費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目・使途については事業目的達成の観点から、支出等に関する書類により額の確定時に確認し、適正である。

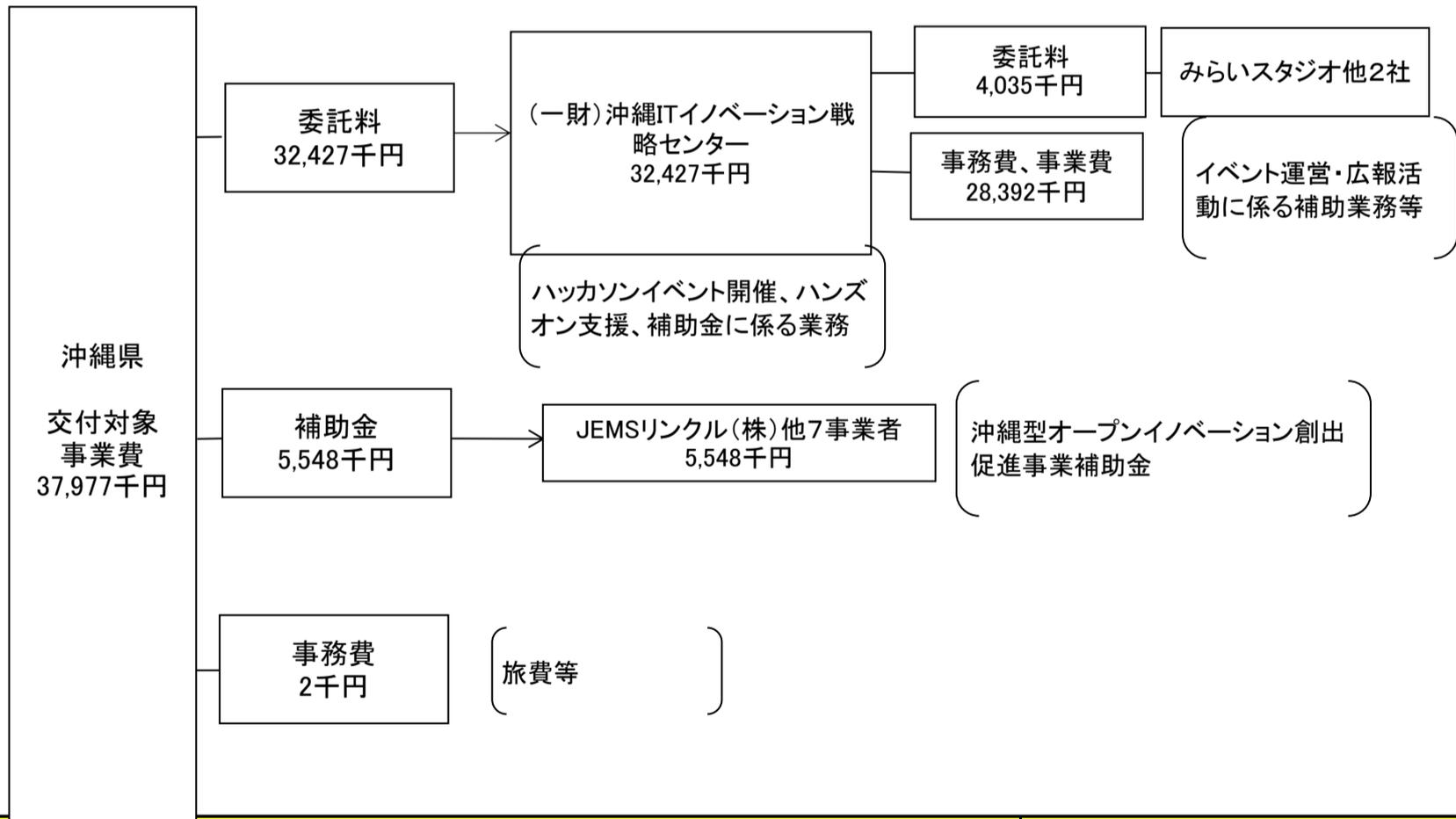
令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業（県分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	120	沖縄型オープンイノベーション創出促進事業	新沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	3-(3)-ア-②			
担当部課名	商工労働部 ITイノベーション推進課	事業実施 (予定)年度	H30 ~ R5 年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-1-(2)		
事業内容	先進的な情報技術の活用による沖縄発の新たなITビジネスやイノベーションの創出を促進するため、①ITを活用した新たなビジネスやサービスの事業化を目指すスタートアップに対し、段階的な支援(補助、ハンズオン支援等)を行うとともに、②IT産業と他産業等のアイデアの融合を図り、様々な関係者がハッカソンを通じてアイデアの事業化を体験させることで、新たな起業家の創出を図る。						
効果発現年度	■当年度 ■後年度(令和6年度)						
実施方法	□直接実施 ■委託 ■補助 □負担 □その他 ()						
予算額・ 執行額 【単位:千円】		R3年度	R3年度(繰越)	R4年度	R4年度(繰越)	R5年度	
	予算 の 状 況	(a) 当初予算額	32,355		44,471		42,597
		(b) 予算現額	32,355		44,471		42,597
		(c) 増減額(b-a)	0	0	0	0	0
		(d) 前年度繰越額					
		A. 計(b+d)	32,355	0	44,471	0	42,597
	B. 執行済額		30,502		36,021		37,977
	うち交付金充当額		24,402		28,816		30,382
	C. 次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		94.3%		81.0%		89.2%
予算の状況の説明		・執行率は89.2%であり、主に補助金の執行残が発生したことによるものである。					
活動目標 (指標) 及び進捗状況	R5活動目標(指標)		進捗状況				
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	①ITスタートアップ向け支援件数	目標	5件	4件	10件	10件	
		実績	4件	6件	10件	8件	
	②ハッカソン開催件数 ※令和3年度まではワークショップ(フューチャージャーセンター)開催件数	目標	10回	5回	5件	5件	
		実績	8回	5回	5件	6件	
進捗状況説明	①ITスタートアップ向け支援件数については、当初目標どおり10件の採択となったが途中辞退が生じたことにより8件となった。 ②ハッカソン開催件数については、当初目標の5回を上回る6回となった。						
成果目標 (指標) 及び達成状況	R5成果目標(指標)		基準値 (〇〇年度)	R3年度	R4年度	R5年度	目標値 (R6年度)
	①ITスタートアップに対する補助件数	目標		4件	—	—	—
		実績			6件	10件	8件
	②令和3年度まではフューチャージャーセンターの利用による産業連携・産学官協働等の件数	目標		1件	—	—	—
		実績			2件	—	—
	③ITスタートアップやハッカソンで生み出された新たなビジネスの件数	目標			5件	5件	—
実績				0	4件	—	
達成状況説明	ITスタートアップによる8件のビジネス化検証活動への補助、ハッカソンの開催による6件のビジネスアイデア創出に繋がった。令和5年度に4件の新たなビジネス構築を達成した。						

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	ITスタートアップ支援については、当初採択した10者のうち、2者が途中で辞退(廃止)となった。	①途中辞退に関しては、補助事業の採択前の確認・採択後のフォロー等の予防的な措置により、改善の余地がある。 ②オープンイノベーション創出を主軸した支援内容や方法等へ見直しを行い、より効果的なビジネス構築の促進を図る。
	今後の取り組み方針	
①補助事業への応募前に実施している事前相談及び応募書類等により適切に実施できる者かを確認し、採択後も相談対応などの丁寧なフォローを徹底する。 ②令和5年度の支援内容や運営体制の課題を踏まえ、ビジネス構築の効果がより期待できる支援内容や方法の変更を検討する。		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	うち交付金充当額	うち県負担金	うち市町村負担金	その他	交付対象外経費
37,977	37,977	30,382	7,595	0	0	0



資金の 用途の 流れ、 費目 ・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は、事業内容を考慮し企画提案プロポーザルによって選定したため、妥当であったと考える。 ○費目・用途については、事業報告書等を検査し、適正である事を確認した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	